

令和4年度
事業報告

学校法人白藤学園

令和4年度 事業報告

1. 学校・園の概要

(令和5年3月31日現在)

設置する学校	奈良保育学院	奈良女子高等学校		奈良保育学院 附属幼稚園	白藤学園おお みや保育園
設置課程 学科	教育保育専門 保育科	全日制 普通科	通信制 普通科		
修業年数	2年	3年	3年以上 (単位制)	3歳から3年 4歳から2年 5歳から1年	
学則定員	100名	800名	100名	90名	200名
児童・生徒数	1年 53名 2年 48名 総数 101名	1年 101名 2年 106名 3年 89名 総数 296名	1年 28名 2年 26名 2年 43名 総数 97名	3歳児 27名 4歳児 29名 5歳児 31名 総数 87名	0歳児 18名 1歳児 23名 2歳児 31名 3歳児 39名 4歳児 36名 5歳児 37名 総数 184名
教職員数 (理事長除く 常勤)	教員 4名 職員 1名	教員 28名 (パート含む) 職員 5名	教員 5名 職員 1名	教員 8名 職員 1名	保育教諭 26名 職員 0名
役員・評議員	理事5名、監事2名、評議員11名				

2. 事業の概要

【学園】

- 令和5年4月1日から奈良市立大宮幼稚園の移管を受け「公私連携幼保連携型認定こども園白藤学園おおみやこども園」として運営することに伴い、円滑な移行を目指して、1月から本格的に引継教育・保育を行った。
- 上記こども園化に伴い必要となる施設改修工事の基本設計を行うとともに「奈良市民間保育所等施設整備費補助金」の確保に必要な協議を奈良市と行った。

【保育学院】

- 卒院生全員が幼稚園教諭免許・保育士資格を取得し、幼児教育・保育関係就職希望者全員が就職を達成した。
- 本学園の「幼稚園」「保育園」の行事に参画するとともに、希望する学生を保育補助に就かせるなど実務経験や即戦力を身に付けた学生の育成に努めた。
- 教員の資質向上を目指し、学会や研修会への参加、研究論文作成などを積極的に支援した。
- 奈良県委託訓練事業（長期高度人材育成コース）の委託法人に選定された。
- ナイトオープンキャンパスの開催、また、「学び直し」による資格取得を目指す社会人への働きかけ等積極的な学生募集活動を展開した。

【高等学校】

- ・令和2年度から「ICT教育」「探究的な学習」を柱とする『次世代教育探究プロジェクト』を進め、「本当にやりたいことが見つかる学校」「大切なことを体験を通して学べる学校」を目指してきた。今年度は新たに「産学・地域連携」を3本目の柱に加えて取り組んだ。
- ・「マイプロジェクトアワード地域サミット」「全国和菓子甲子園」「スイーツ甲子園」への選抜、参加、また、阪神百貨店でのクッキー缶、コロネ（パン）の製造、販売などにも取り組むことが出来た。
- ・進路については、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」を活用して志望大学に合格する生徒が増えるなど、大学進学する生徒の割合が令和2年度の28%から52%に伸びた。
- ・不登校などに配慮を要する生徒も多くいることから、教員の指導力の向上とともに課題に組織的に対応する力をつける必要がある。

【幼稚園】

- ・園外の畑でツルのついたさつま芋を掘ったり、玉ねぎを植えたりするなど自然と触れ合い、園児の豊かな感性と力を引き出す教育の充実に努めた。
- ・保護者ボランティアを募って行事の手伝いをしてもらうなど、幼児教育に保護者が関われる取り組みを進めた。
- ・保護者連絡アプリを使って、普段の子どもたちの姿、成長を各家庭に配信した。
- ・「英語教室」では、アメリカの先生とZOOMでつないで子どもたちとやり取りをするなど、異文化に興味・関心を抱く機会とすることが出来た。

【保育園】

- ・4月に奈良市から民間移管を受け「公私連携型保育所白藤学園おおみや保育園」として開設した。
- ・スムーズな移行ではあったが、初めてともに仕事をする職員が多く、保育観のすり合わせに時間をかけた。そのため、クラス単位、学年単位でドキュメンテーション作成を通して、保育の振り返りを行い、園内会議で報告会を行うなど、意識のすり合わせを重ねた。
- ・学園の高等学校が近くにあるため、広い校庭を使って思い切り体を動かす機会を作ることが出来た。
- ・保育学院生の参加を得て、「夏のお楽しみ会」や「花いっぱい運動」を行うなど、保育教諭を目指す学生との交流の機会を持てたことは、子どもたちだけでなく保護者にも好評であった。